

2 徳之島地域農業を支える担い手の育成

【成果の要約】

認定農業者、新規就農者、農業青年などに対して、各関係機関と連携し、経営、インボイス制度に関する研修や、農業経営スペシャリストを活用した法人設立等に関する支援を実施した。また、家族経営協定は1戸締結し、新規複式簿記記帳農家が13戸増加した。

女性農業経営士1人が認定された。また、徳之島農業青年クラブ連絡協議会活動支援を通じた青年リーダーの育成や女性起業組織による「食の伝承講座」を実施した。

1 対象

- (1) 担い手478経営体、認定農業者294人・23法人、JA青色申告会119人
- (2) 担い手確保・育成対策事業対象者18戸、集団対象1集団
- (3) 新規就農者、農業次世代人材投資事業対象者、就農予定者
- (4) 徳之島農業青年クラブ連絡協議会37人
- (5) 参画21とくのしま18人、伊仙町ふぁーみんぐ10人、若手女性農業者18人、女性起業組織6組織

2 課題を取り上げた理由

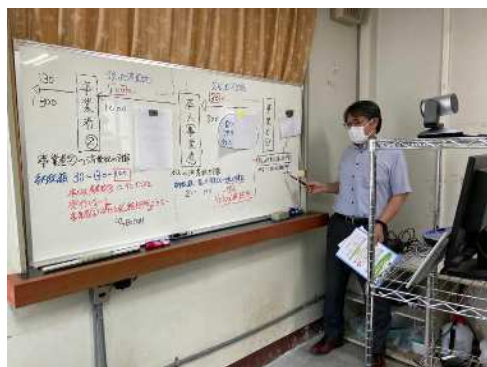
- (1) 認定農業者及び新規就農者等への関係機関一体となった支援体制の強化が必要である。
- (2) 新規就農者及び青年農業者等の課題解決に向けた自主的な取組と手法の習得が必要である。
- (3) 農村女性の経営参画を促進するため、若手女性農業者の育成及び女性農業経営士の認定支援が必要である。
- (4) 女性起業活動を促進するため、女性起業グループの後継者確保及び起業家志向者の育成が必要である。
- (5) 担い手農家の経営管理能力向上に向けた支援が必要である。
- (6) 上記のためには労働力確保に向けた取組への支援が必要である。

3 活動内容と成果

- (1) 認定農業者等の経営改善支援

ア 担い手部会の定期的開催支援

島内の担い手課題や各町における施策の進行状況について検討を実施した。また、7月27日に、リモート配信を活用しながら「インボイス制度」についての研修を実施するとともに、農業経営スペシャリストによる法人化等の個別相談会を実施した。



配信による研修会（講師側）



配信による研修会（天城会場）

イ 新規認定農業者支援

各町の経営改善計画作成支援を実施した。12戸が新規の認定農業者として認定された。

ウ 法人化の推進

農業経営スペシャリストを活用した個別相談会を実施するとともに、関係機関とも連携しながら法人化に向けた支援を実施した。



個別相談会（R4.7.27）



個別相談会（R4.11.24）

エ 経営改善支援

新規就農者を中心に青色申告を推進し、13戸が新規にJA青色申告会に入会しパソコン複式簿記を開始した。

また、農業制度資金については、資材高騰対策や肉用牛の増頭に関する資金相談を中心に、経営改善計画書の作成支援を16戸実施し、資金借入後の活用状況把握等も実施した。

オ 経営目標を充足する労働力確保に向けた取組支援

経営改善計画書の目標達成に対してボトルネックとなっている、労働力不足の現状を分析し、関係機関で検討した。労働力分散のための新規品目技術の検討、労働力補完・平準化のしくみづくり等、今後関係機関一体となり取り組む必要性を確認した。



夏場の品目ピタヤの検討（R4.8.5）

(2) 家族経営協定の推進

農業後継者の就農などを機会として、役割分担、報酬、休日などを定めた家族経営協定を推進し、新たに1戸が締結した。

(3) 重点対象者の育成

ア 経営改善支援

重点指導農家を中心に、令和4年度の経営分析を実施し、各経営体の経営課題について提案・指導を実施した。

イ 技術改善支援

各経営体の現状に応じた栽培技術、飼養管理技術について指導を実施した。

(4) 新規就農者確保及び農業青年の育成

ア 就農支援体制の充実

各町と連携し、新規就農者を個別訪問して就農意欲や営農上の課題等を把握するとともに「新規就農者励ましの会」、「町別説明会」を開催し、指導農業士や農業青年クラブ員との顔合わせを行った。

また、農業基礎研修や部門技術情報の提供、定期的な巡回訪問などを行い、新規就農者の早期定着を図った。



新規就農者励ましの会



町別就農者支援策説明会



農業基礎講座(農業機械)



新規就農者ほ場巡回

イ 認定新規就農者への誘導

青年等就農計画の作成支援や資金相談を行い、3戸が認定新規就農者に認定された。

ウ 組織活動を通じたリーダー育成

コロナ禍の中にあり、各町農業クラブ及び徳之島農業青年クラブ連絡協議会の活動に大きな制限があったが、重点的な活動体制支援を継続した結果、新たなリーダーとして連協役員が就任した。web会議システムを活用した県連役員会への参加、県連女子会への参加等を通し、徳之島農業青年の活動についてPRするなど、工夫した活動を展開した。

エ 青年農業者の技術・経営管理能力向上支援

11月に徳之島地区青年農業者会議を開催し、1人が意見発表、3人がプロジェクト発表、3人が視察報告を行い、指導農業士等から有益な助言指導がなされた。今後も青年農業者のプロジェクト活動に対する自発的な取組を誘導し、技術・経営管理能力の向上支援を進めていく。



地区青年農業者会議



プロジェクト活動風景

(5) 女性農業者の育成

ア 女性農業経営士の育成

昨年度取り組んだ熱帯果実のPR活動について、県域研修会での事例発表に向けた支援を行った。また、新たに1人が女性農業経営士に認定された。「地区青年農業者会議」で青年農業者の活動についても理解を深め、来年への後継者育成活動への足がかりとした。

イ 若手女性農業者の活動支援

「参画21とくのしま」の活動に若手女性1人が参加し、相互交流を深めた。



県域研修会での事例発表



参画21 とくのしま交流会

ウ 女性起業グループの活動支援

特産品の加工技術向上に向けた果実等のドライフルーツ試作の支援やHACCPに準じた冷凍食品の情報を提供した。

また、徳之島の食文化を島の次世代や来島者に伝える「食の伝承講座」を開催した。



みそだま作り体験講座（天城町）



伝承料理（徳之島町）



親子料理教室（伊仙町）

4 今後の課題

- (1) 認定農業者，認定新規就農者及び担い手候補者への支援と支援体制強化の継続。
- (2) 持続的な農業の発展に向けた地域活動への支援。
- (3) 農業青年及び新規就農者の所得目標達成に向けた支援の継続。
- (4) 女性の能力発揮の機会確保と，次世代リーダー育成。
- (5) 離島における6次産業化の検討。

5 担当した普及職員（〇はチーフ）

〇樋口，有村，若志，大迫，福元，能口，脇田，松ノ下